

浜風

はまかせ

岩手県立山田病院広報誌 春号

Vol.7

発行日 令和元年5月
発行 山田病院広報・ホームページ委員会
〒028-1352 岩手県下閉伊郡山田町飯岡第1地割21番地1
TEL0193-82-2111
URL <http://www.pref.iwate.jp/iryoukyoku/index.html>



新年度のごあいさつ

令和元年5月

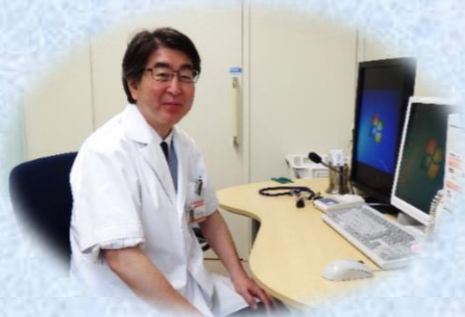
院長の宮本です。令和元年となりました。はじめは慣れなかった新年号も最近はすんなりと書類に記載できるようになりました。

ところで、約2年前に外科診療を担当していた前副院長が退職されてから、外科診療は県立中央病院と県立宮古病院からの応援で毎週木曜日に行っていましたが、週に1回では十分ではありませんでした。もちろん常勤医師が増えることが望まれますが、基幹病院の外科医師も不足しており、ただちに地域偏在が変わるとは考えられず当院の懸念事項となっております。しかし今年4月1日から外科医師の朝戸裕先生が東京の自宅から毎週月～水曜日午前まで外科診療の応援を頂けることになり、月曜日から木曜日まで外科診療が可能となりました。

今年4月より宮古高等看護学院学生の看護実習を当院でも行なっており、県立宮古病院で行なっている初期研修医の地域医療、総合診療の研修の一部や、岩手医科大学の学生(5年生)の地域医療研修も行なっています。また6月から睡眠時無呼吸症候群の診断ができる終夜睡眠ポリグラフィー検査を開始します。いびきや夜間の呼吸障害、睡眠障害の精査は盛岡市まで行

かなければなりませんでした。当院で行うことが可能となりました。閉塞型睡眠時無呼吸症候群は生活習慣病と関連し、心臓血管疾患を惹起して生命予後を悪化させることが明らかにされてきております。検査を希望される方は気軽にスタッフに相談して下さい。

多くの道路が開通し、宮古釜石間の鉄道も開通、新しい住宅も多くなり山田町の復興が見えるようになりました。今年度の三陸災害復興プロジェクトの一環として当院では7月29日にオープンホスピタルとする予定で、多くの方に来ていただけるよう準備しています。当院も医療を通して山田町の復興に関わっていきたいと思いますので応援をお願いいたします。



院長 宮本 伸也

山田病院まつり2019

来る、令和元年7月29日月曜日午後1時30分～、三陸防災復興プロジェクト2019の関連事業として、【岩手・三陸 山田病院まつり2019(オープンホスピタル)】を開催いたします。

東日本大震災後に全国各地からいただいた支援への感謝の気持ちを込めて、県立病院をより身近に感じていただけるよう、沿岸8つの県立病院等で様々なイベントを実施しますので、お誘い合わせのうえお気軽にご来場ください。

山田病院では当日の主なイベントとして、被災から復興までのパネル展示、施設見学、業務紹介、職場体験、健康教室や健康ウォーキングなどを企画しています。職員一同、ご来場を心よりお待ちしております。参加者には県立病院オリジナルバッグをプレゼントします。

なお、病院ごとに開催日や開催内容は異なりますので、ポスター・チラシやホームページなどでご確認ください。



あさと ゆたか

臨時医務嘱託 朝戸裕医師のごあいさつ

本年4月より県立山田病院で月曜から水曜までの外科外来を担当させて頂くことになりましたので、ご挨拶させていただきます。

20年以上前から夏季家族旅行で北東北にお邪魔しており岩泉から宮古付近は馴染みのエリアです。

大学卒業後外科に進み、乳腺外科・一般消化器外科を専門として仕事をしていましたが、十数年前に先輩からの勧誘でハンセン病療養施設である国立療養所多摩全生園に移籍して、昨年定年退職となりました。その頃、定年後に千厩の県立病院で仕事をされている先輩から、岩手県は良いから仕事に来ないかとお誘いを受け、県の医師支援推進室の方を紹介して頂きました。長年お世話になった岩手県で少しでもお役に立てればと思い、ご紹介頂いた山田病院で仕事をさせて頂く事になりました。

この地域の人口を考えますと急性期機能を持った病院が成り立っていくのは難しいかと思いますが、地域の皆様の外科的問題による日常生活上の不都合が少しでも軽減出来るように頑張っていきたいと思っています。

私の現在のただ一つの趣味はスキーで、クラブに所属して年に何回も滑っては温泉に入って美味しくビールを飲んでいますが、岩手県の広大なスキー場も経験出来る事を楽しみにしています。せっかく三陸の山田町で時間を過ごす機会をいただきましたので、海と山の幸を楽しみ、またいろいろな釣り等も経験してみたいと思っています。どこかで見掛けられましたらご指導いただけますようお願い致します。



あさと ゆたか
朝戸 裕 医師

ふれあい看護体験

5月15日に今年度最初のふれあい看護体験を実施し、高校生が患者さんとの交流を通して看護の仕方を学びました。

看護体験では病院内のさまざまな施設を見学し、看護師の指導を受けながら血圧測定や車椅子の乗車など患者さんの目線に立った体験や、患者さんの足を洗う清潔介助などに取り組みました。看護体験をした高校生は、「職員の方々に優しく教えていただき大変うれしかったです。看護師になりたい気持ちがよりいっそう大きくなりました。」と、キラキラした笑顔で感想を語ってくれました。



メディカルショートステイのご案内

メディカルショートステイとは医療依存度が高く、介護施設でのショートステイ利用困難な患者さんに、短期入院をしていただくことで、在宅医療を支える介護者の方、ご家族の支援をさせていただくものです。介護保険ではなく医療保険でのご利用となります。

当院では地域貢献を目的に「メディカルショートステイ」を行っておりますので、どうぞご活用ください。

●対象について

原則として、県立山田病院かかりつけの患者さんを対象としております。



*医療処置がある患者さん

医療処置とは

- ・点滴をしている
- ・経管栄養をしている
- ・インスリン注射をしている
- ・在宅酸素療法をしている
- ・痰の吸引をしている
- ・訪問診療を受けている
- ・尿道カテーテルが入っている
- ・褥瘡の処置をしている
- ・人工肛門を造設している
- ・悪性腫瘍や種々の疾患の終末期の段階で、医師が必要と判断した場合
- ・感染症があり施設での受け入れが困難な場合



また

その他、介護者の方の病気や介護疲れ、近親者の冠婚葬祭など、ご家族の事情で一時的に在宅介護が困難になった場合など遠慮なくご相談ください。



●ご利用に関して

- ・完全予約制となります。
- ・入院期間は、10日前後(最大14日間)です。
- ・入院期間分のお薬はご持参下さい。
- ・必要に応じて医師の指示により検査、薬剤指導、栄養指導、リハビリテーションを行います。
- ・入院受け入れの可否、入院期間はご相談のうえ判断させていただきます。
- ・診療目的の患者さんを優先しておりますので、日程等の調整をさせていただく場合やご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。



●お申し込みについて

- ・入院のお申し込み、ご相談は「看護なんでも相談窓口」までお気軽にお問合せください。

岩手県立山田病院 看護なんでも相談窓口【受付時間：平日午前9時00分～午後4時30分】

スポーツ同好会の活動紹介

山田病院では平成29年度よりスポーツ同好会を発足して、卓球・バトミントン・ソフトバレーなどで汗を流しています。職員の健康増進、日頃たまったストレス解消、運動不足解消など、それぞれ目的は異なりますが、自分の体力に合わせたスポーツを行っております。

2～3人からスタートした同好会でしたが、最近は10名程度集まるようになりワイワイ・ガヤガヤと楽しく活動しています。今後ともよろしくお願ひします!!



